

葉月を迎えて

分所長 高木 敏彦

猛暑の毎日が続いています。新型コロナウイルスの感染拡大にも歯止めが効かない昨今、体調管理に留意してお過ごしのことと拝します。

開教130年の今年の瑞生大祭は参拝者を迎えての開催となりました。ロシアのウクライナ侵攻が未だに終息しない中、真剣に世界平和を祈る祭典となりました。

さて、現在の碧南分所に所属している信徒の皆様、皆様の消息について最新の状況調査を行い正しい状況を名簿上に反映したいと思えます。未自覚信徒の人にはお声がけをして参拝等への参加を促して頂き、神様の光を受けて頂きましよう。

10月の三河本苑大祭には教主様の御巡教が予定されています。新築の本苑での大祭を皆様とともに祝いさせて頂きましよう。

碧南分所だより

東北日記 六の巻

出口 王仁三郎

自分は自分のために生まれ、自分自身のために存在するのだ、報恩謝徳などとはもつての他だと威張ったことを言うものが多くなってきたようだが、これらは実に幼稚な思想であって、少しく考

えてみれば直ぐに分かることである。

吾人の今日ここに存在し得るのは神様と祖先のたまものである。また日本の存在するのも日本の祖先の神々のたまものである。日本の神道は全て祖先崇拜の教であるが、これをいかなる知識階級でも曲げることのできぬ真理を含んでいる。

謝恩の念があつて初めて犠牲心が起り没我心が起るのだ。動物でさえも恩を知るではないか、西洋の社会学者でさえ犠牲と没我心の二つがなければ社会は進化しないと云っている。

自分を犠牲にすること、自己を没却すること、この二つのものは神道の教義の教うるところであつて、親が子を愛し、子が親に孝を尽くすのは人間自然性神の慣性であり常道である。

主な行事予定

八月七日(日)

瑞生大祭

八月一四日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第二班

八月二一日(日) 午前一〇時より

三河本苑月次祭・全体会議

担当第二ブロック

八月二七・八日(土日)

葬祭祭式研修 名古屋分苑にて

九月一一日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第三班

九月一八日(日) 午前一〇時より

三河本苑月次祭

九月二五日(日)

宣伝使・宣伝使になるための研修会

三河本苑にて

参拝時には「マイボトル」「マイ箸」「マ

イ祝詞」を持参しましょう!♥

8月の誕生者

おめでとつ!おめでとうございます!

澤田 寛 4日 平野さとみ、鈴木啓太 5日

鈴木 穂波、奥谷 敦子 8日 角谷 明 9

日 久野 鉦二、坂野 倫子 10日 生田

泰之 13日 生田 吉亮 14日 坂部 恒

彦 19日 大塚 康子、藤浦 明仁 22日

蒲生 吏紗 23日 鈴木 啓誉 24日

飯田 寛 24日 生田 爽杏 26日

市古 順一、江坂 節子、杉浦 俊保、杉浦

隆太 27日